

WHOの新分娩ガイドライン第2弾

特に注目したい項目 &
大きな効果が期待される項目

Introduction

2021年10月3日 Special Vision#5

河合 蘭、福澤利江子

WHO recommendations: intrapartum care for a positive childbirth experience (2018)

ポジティブな出産体験のための分娩期ケア

訳・飯村ブレット 古宇田千恵 笹川恵美 新福洋子
杉本敬子 高橋優子 ドーリング景子 春山怜 日隈ふみ子
福澤利江子 (2021年 医学書院)



約20年ぶりの改訂



6月27日【Special Vision #4】 WHO(世界保健機関)の新しい分娩ガイドラインを知る ～ ひとりひとりが大切にされ、出産のSDGsが実現されるために 247名

見逃し配信 2022年1月末日まで配信
<http://ptix.at/PAsqV4>



永井真理氏
(国立国際医療研究センター国際医療協力局／元・WHO西太平洋地域事務局リプロダクティブ・妊産婦・新生児・小児・思春期部門 医官)

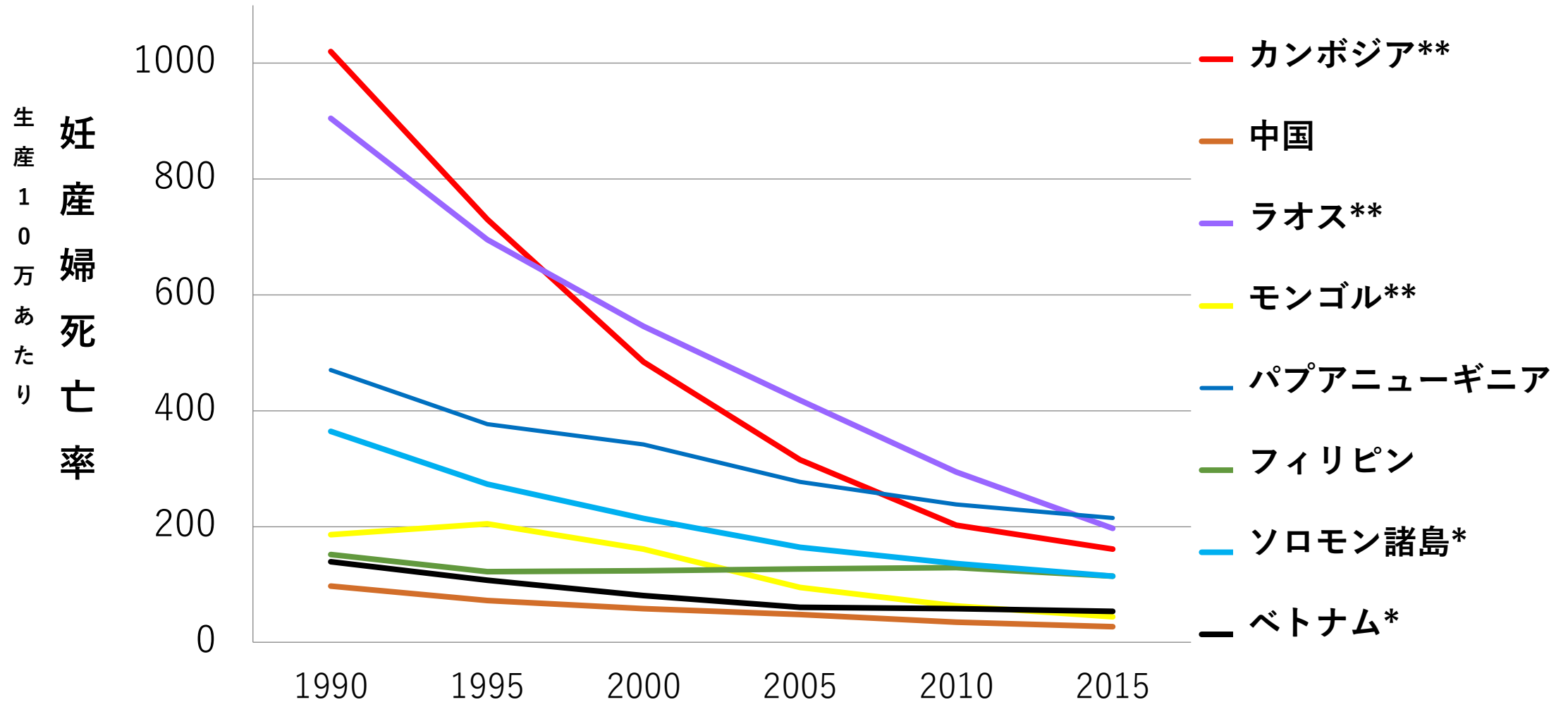
森 臨太郎氏
(国連人口基金・アジア太平洋地域事務所／人口高齢化と持続可能な開発に関する地域アドバイザー／京都大学大学院医学研究科・客員教授)

福澤利江子氏
(筑波大学医学医療系 助教)



西太平洋（WPRO）地域の妊産婦死亡率の推移

Estimates by WHO, UNICEF, UNFPA, World Bank Group and the United Nations Population Division (2015)



永井真理氏 (国立国際医療研究センター国際医療協力局／元・WHO西太平洋地域事務局リプロダクティブ・妊産婦・新生児・小児・思春期部門 医官)からご提供いただきました。

**MDG達成、*達成へ向けて向上

施設分娩中の軽蔑と虐待の予防と撲滅

世界保健機関 声明

全ての女性が、尊厳を保ち、尊重されたヘルスケアを受ける権利や、暴力や差別を受けない権利を含めた、到達し得る最高基準の健康に対する権利を持っている。



photo: UNICEF

世界中で、医療施設での出産中に、多くの女性が軽蔑的で虐待的な扱いを経験している。そのような扱いは、尊重されたケアを受ける女性の権利を侵害するだけでなく、彼女たちの人生、健康、身体的な尊厳への権利、そして差別からの自由をも脅かす可能性がある。この声明は、この重要な公衆衛生と人権の問題に、より多くの行動、対話、研究とアドボカシーを求めるものである。



ドーリング景子 氏



笹川恵美 氏



春山 怜 氏



福澤利江子 氏

WHO recommendations Intrapartum care for a positive childbirth experience



必要な物理的資源

産婦を
尊重した
出産ケア

産婦が選んだ
付き添い人による
情緒的支援

継続ケア

効果的な
コミュニケーション

照会・搬送
についての
事前計画

産痛の
緩和方法

出産中の
歩行や体位の
自由な選択

出産進行の
定期的な観察、
出来事の記録、
監査、
フィードバック

飲食の
自由

有能で意欲のあるスタッフ



本日、取り上げる推奨項目

- 1 産婦を尊重したケア Respectful Maternity care
- 3 出産中の付き添い Companionship during labour and childbirth
- 4 継続ケア Continuity of care
- 6 分娩第一期の所要時間 Duration of the first stage of labour
- 7 分娩第一期の進行 Progress of the first stage of labor
- 21 痛みの緩和を目的としたリラクゼーションの技法
Relaxation techniques for pain management
- 33 分娩第二期の定義と所要時間
Definition and duration of the second stage of labour
- 38 会陰の創傷予防の手技 Techniques for preventing perineal trauma
- 39 会陰切開の方針 Episiotomy policy
- 40 子宮底の圧迫 Fundal pressure

表3.2 判断のまとめ：妊産婦を尊重したケアの介入と非介入（対照群）との比較

Table 3.2 Summary of judgements: Respectful maternity care (RMC) intervention compared with no RMC intervention

	望ましくない ←————→ 望ましい						
望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	尊重したケアも通常のケアもどちらも変わらない	尊重したケアの方がおそらく良い	尊重したケアの方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	尊重したケアも通常のケアもどちらも変わらない	尊重したケアの方がおそらく優れている	尊重したケアの方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.6 判断のまとめ：出産付き添いと通常のケアとの比較

Table 3.5 Summary of judgements: Companionship compared with usual practice

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	出産付き添いも通常のケアもどちらも変わらない	出産付き添いの方がおそらく良い	出産付き添いの方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	出産付き添いも通常のケアもどちらも変わらない	出産付き添いの方がおそらく優れている	出産付き添いの方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.8判断のまとめ：分娩第1期の新たな定義と既存の定義との比較

Table 3.8 Summary of judgements: Adopting new definitions compared with existing definition for the first stage of labour

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	既存の定義の方が良い	既存の定義の方がおそらく良い	新たな定義も既存の定義もどちらも変わらない	新たな定義の方がおそらく良い	新たな定義の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	既存の定義の方が優れている	既存の定義の方がおそらく優れている	新たな定義も既存の定義もどちらも変わらない	新たな定義の方がおそらく優れている	新たな定義の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.12判断のまとめ：分娩所要時間の新たな上限値と既存の上限値との比較

Table 3.12 Summary of judgements: Adopting new upper limits compared with existing limits for duration of labour

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	既存の上限値の方が良い	既存の上限値の方がおそらく良い	新たな上限値も既存の上限値もどちらも変わらない	新たな上限値の方がおそらく良い	新たな上限値の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	既存の上限を支持する	既存の上限値をおそらく支持する	新たな上限値も既存の上限値もどちらも変わらない	新たな上限値をおそらく支持する	新たな上限値を支持する
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.15判断のまとめ：1 cm /時の子宮口開大速度を基にした診断の精度

Table 3.15 Summary of judgements: Diagnostic test accuracy of 1-cm/hr cervical dilatation rate

望ましい

望ましくない

診断の精度	不明	多岐		とても不正確	不正確	正確	とても正確
望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
診断の精度に関する確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
診断法の効果に関するエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
管理の効果に関するエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
診断結果と管理の効果に関するエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
全体的な効果の確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い

表3.15判断のまとめ：1 cm /時の子宮口開大速度を基にした診断の精度（続き）
 Table 3.15 Summary of judgements: Diagnostic test accuracy of 1-cm/hr cervical dilatation rate

			望ましい 望ましくない				
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐		診断法の方が良くない	診断法の方がおそらく良くない	診断法の方がおそらく良い	診断法の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐		診断法を支持しない	診断法をおそらく支持しない	診断法をおそらく支持する	診断法を支持する
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.19判断のまとめ：ゆっくりだが正常な子宮口開大パターンの分娩管理への適応

Table 3.19 Summary of judgements: Application of slow-yet-normal cervical dilataion patterns for labor management

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	代替オプションの方が良い	代替オプションの方がおそらく良い	ゆっくりだが正常な開大も代替オプションもどちらも変わらない	ゆっくりだが正常な開大の方がおそらく良い	ゆっくりだが正常な開大の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	代替オプションの方が優れている	代替オプションの方がおそらく優れている	穏やかだが正常な開大も代替オプションもどちらも変わらない	穏やかだが正常な開大の方がおそらく優れている	穏やかだが正常な開大の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.34 判断のまとめ：硬膜外麻酔を使用する場合とプラセボ使用あるいは硬膜外麻酔不使用の場合との比較

Table 3.34 Summary of judgements: Epidural analgesia compared with placebo or no epidural analgesia

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	オピオイド使用か硬膜外麻酔不使用の方が良い	オピオイド使用か硬膜外麻酔不使用の方がおそらく良い	硬膜外麻酔使用も不使用もどちらも変わらない	硬膜外麻酔使用の方がおそらく良い	硬膜外麻酔使用の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	硬膜外麻酔不使用の方が優れている	硬膜外麻酔不使用の方がおそらく優れている	硬膜外麻酔使用も麻酔不使用もどちらも変わらない	硬膜外麻酔使用の方がおそらく優れている	硬膜外麻酔使用の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.36 判断のまとめ：硬膜外麻酔を使用する場合とオピオイドを使用する場合との比較
Table 3.36 Summary of judgements: Epidural analgesia compared with opioid analgesia

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	オピオイド系鎮痛薬使用の方が良い	オピオイド系鎮痛薬使用の方がおそらく良い	硬膜外麻酔使用もオピオイド系鎮痛薬使用もどちらも変わらない	硬膜外麻酔使用の方がおそらく良い	硬膜外麻酔使用の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	オピオイド使用の方が優れている	オピオイド使用の方がおそらく優れている	硬膜外麻酔使用もオピオイド使用もどちらも変わらない	硬膜外麻酔使用の方がおそらく優れている	硬膜外麻酔使用の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.42 判断のまとめ：リラクゼーションの技法と通常のケア（リラクゼーションの技法なし）との比較

Table 3.42 Summary of judgements: Relaxation techniques compared with usual care (no relaxation techniques)

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	リラクゼーションの技法も通常のケアもどちらも変わらない	リラクゼーションの技法の方がおそらく良い	リラクゼーションの技法の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	リラクゼーションの技法も通常のケアもどちらも変わらない	リラクゼーションの技法の方がおそらく優れている	リラクゼーションの技法の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.44 判断のまとめ：手技¹⁾と通常のケア（手技なし）との比較Table 3.44 Summary of judgements: Manual techniques¹ compared with usual care (no manual techniques)

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	手技も通常のケアもどちらも変わらない	手技の方がおそらく良い	手技の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	手技も通常のケアもどちらも変わらない	手技の方がおそらく優れている	手技の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

注 1) 温罨法も評価されているが、量的および質的なエビデンスのほとんどがマッサージに関係しているものである。

表3.47 判断のまとめ：分娩第2期の所要時間の上限としての95パーセンタイル値の使用

Table 3.47 Summary of judgements: Use of the 95th percentile thresholds as upper limits for the duration of the second stage of labour

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	平均限界値の方が良い	平均限界値の方がおそらく良い	平均限界値も上限値（95パーセンタイル値）もどちらも変わらない	上限値（95パーセンタイル値）の方がおそらく良い	上限値（95パーセンタイル値）の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	既存の限界値の方が優れている	既存の限界値の方がおそらく優れている	増加した限界値も既存の限界値もどちらも変わらない	増加した限界値の方がおそらく優れている	すぐれている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.54 判断のまとめ：会陰マッサージと通常のケア（会陰マッサージなし）との比較（比較1）

Table 3.54 Summary of judgements: Perineal massage compared with usual care (no perineal massage) (comparison 1)

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	会陰マッサージも通常のケアもどちらも変わらない	会陰マッサージの方がおそらく良い	会陰マッサージの方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	会陰マッサージも通常のケアもどちらも変わらない	会陰マッサージの方がおそらく優れている	会陰マッサージの方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.56 判断のまとめ：会陰への温罨法と通常のケア（温罨法なし）との比較（比較2）

Table 3.56 Summary of judgements: Warm perineal compress compared with no warm compress (comparison 2)

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常のケアの方が良い	通常のケアの方がおそらく良い	温罨法も通常のケアもどちらも変わらない	温罨法の方がおそらく良い	温罨法の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	温罨法も通常のケアもどちらも変わらない	温罨法の方がおそらく優れている	温罨法の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.58 判断のまとめ：「ハンズオフ」と「ハンズオン」との比較（比較3）

Table 3.58 Summary of judgements: “Hands-off” approach compared with “hands-on” approach (comparison 3)

望ましい ←

→ 望ましくない

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	ハンズオンの方が良い	ハンズオンの方がおそらく良い	ハンズオフもハンズオンもどちらも変わらない	ハンズオフの方がおそらく良い	ハンズオフの方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	ハンズオンの方が優れている	ハンズオンの方がおそらく優れている	ハンズオフもハンズオンもどちらも変わらない	ハンズオフの方がおそらく優れている	ハンズオフの方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.60 判断のまとめ：リットゲン操作と通常のケア（「ハンズオン」）との比較（比較4）
Table 3.60 Summary of judgements:Ritgen’s manoeuvre compared with usual practice (“hands on”) (comparison 4)

			← 望ましい 望ましくない →				
望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	通常の実践の方が良い	通常の実践の方がおそらく良い	リットゲン操作も通常の実践もどちらも変わらない	リットゲン操作の方がおそらく良い	リットゲン操作の方が良い
必要な資源（リソース）	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源（リソース）についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果 ^a	不明	多岐	通常のケアの方が優れている	通常のケアの方がおそらく優れている	リットゲン操作も通常のケアもどちらも変わらない	リットゲン操作の方がおそらく優れている	リットゲン操作の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

注a) この介入で得られる望ましい効果は些少であるため、費用対効果の判断は行わなかった。

表3.62 判断のまとめ：会陰切開の＜選択的／限定的実施＞と＜慣例的／積極的实施＞の方針との比較

Table 3.62 Summary of judgements: Policy of selective/restrictive episiotomy compared with routine/liberal use of episiotomy

望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起こるかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	慣例的・積極的実施の方針の方が良い	慣例的・積極的実施の方針の方がおそらく良い	選択的・限定的実施の方針も慣例的・積極的実施の方針もどちらも変わらない	選択的・限定的な実施の方針の方がおそらく良い	選択的・限定的な実施の方針の方が良い
必要な資源(リソース)	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源(リソース)についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	慣例的・積極的実施の方針の方が優れている	慣例的・積極的実施の方針の方がおそらく優れている	選択的・限定的実施の方針も慣例的・積極的実施の方針もどちらも変わらない	選択的・限定的な実施の方針の方がおそらく優れている	選択的・限定的な実施の方針の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり

表3.64 判断のまとめ：子宮底用手圧迫と子宮底圧迫なしとの比較
Table 3.64 Summary of judgements: Fundal pressure compared with no fundal pressure

			望ましい ←————→ 望ましくない				
望ましい効果が得られるかどうか	不明	多岐		些少	小さい	中程度	大きい
望ましくない効果が起るかどうか	不明	多岐		大きい	中程度	小さい	些少
エビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
価値				重大な不確実性やばらつきがある	重大な不確実性やばらつきがおそらくある	重大な不確実性やばらつきがおそらくない	重大な不確実性やばらつきがない
効果のバランス	不明	多岐	子宮底圧迫なしの方が良い	子宮底圧迫なしの方がおそらく良い	子宮底用手圧迫も子宮底圧迫なしもどちらも変わらない	子宮底用手圧迫の方がおそらく良い	子宮底用手圧迫の方が良い
必要な資源(リソース)	不明	多岐	多大なコスト	中等度のコスト	コストも費用削減も無視できる程度	中等度の費用低減	相当の費用低減
必要な資源(リソース)についてのエビデンスの確実性	該当する研究なし			とても低い	低い	中程度	高い
費用対効果	不明	多岐	子宮底圧迫なしの方が優れている	子宮底圧迫なしの方がおそらく優れている	子宮底用手圧迫も子宮底圧迫なしもどちらも変わらない	子宮底用手圧迫の方がおそらく優れている	子宮底用手圧迫の方が優れている
公正性	不明	多岐	低下する	おそらく低下する	おそらく変化しない	おそらく向上する	向上する
受け入れやすさ	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり
実行可能性	不明	多岐		なし	おそらくなし	おそらくあり	あり